

その一 ワクチン接種・フィラリアの予防
防げる病気はしっかりと予防しましょう。



その二 避妊・去勢手術

子供を産ませるつもりがない時は、是非避妊・去勢手術をしましょう。
望まない妊娠を防ぐ以外にも、避妊・去勢をするだけで防げる病気があります。

その三 木らせない

肥満は万病のもと！！たくさんの病気のリスクが潜んでいます。今からでも遅くありません！！太っている子は、今日からダイエットを考えてあげましょう。



その四 正しい食生活

人間同様、動物の体は食べ物からできています。バランスのとれた食餌を与えましょう。



その五 歯石をためない



ペットも歯が命……！

特に小型犬は歯石がつきやすく、心臓病などのリスクも高まっています。



その六 ストレスをためない

おもちゃを使って遊んだり、お散歩へ出かけたり……

正しいコミュニケーションやしつけは、余分なストレスを減らすことができます。

飼い主さんと向き合う時間がストレス解消になるかもしれません。



その七 定期的な健康診断

簡単な検診でも構いません。

具合が悪そうでもなくとも、7歳を過ぎたら定期的に診察を受診するようにしましょう。



倉吉動物医療センター・山根動物病院 Vol.7



発行日
2013年9月1日

院長のあいさつ

この夏、鳥取県初となる動物愛護施設を倉吉市内に「人と動物の未来センター “アミティエ”」として完成させました。これは公益財団法人動物臨床医学研究所が運営していますが、当院としても全面的な協力をしなくてはなりません。福島県からも犬や猫が搬入されるなど、今後鳥取県の動物愛護の中心的な役割を果たすと思います。9月21日には開所式と合わせて動物フェスティバルを開催しますので、是非ご参加ください。秋にはボランティアなどを募集するように考えていますので、ご協力をお願いします。

9月16日は敬老の日☆ご長寿ペットを大紹介☆

9月16日は敬老の日です。当院にもたくさんのシニア世代のペット達が来院されます。今回は、シニアの中でもご長寿なペットさん達をほんの一部ではありますがご紹介させていただきます。

ネネちゃん 17歳



たまちゃん 19歳



健三郎くん 19歳

大切な家族の一員であるペット達が元気で長生きできるように、私たちスタッフも少しでもお手伝いできればと思います。何かあればいつでもご相談ください。



千ピちゃん 17歳



ピッススちゃん 19歳

我が家の宝(アニマル版)

我が家の娘☆鈴

生後一か月で我が家に来てくれた鈴ちゃん。ある時、仕事から帰って待っている鈴ちゃんを見ると、様子が違うことに気が付き病院へ……。心臓の病気と知り岡山から高島先生を紹介して頂き倉吉へ……。先生の「私の犬なら手術します。」との言葉を信じて大きな心臓の手術をして頂き今は元気になりました。入院中の先生方、看護師さん達の言葉や笑顔に励まされた事、感謝しています。鈴ちゃんも嬉しかったよね！

先天性の病気を持って生まれても、今一緒に過ごせて幸せよ！！ありがとう！

フードに関するお知らせ

ヒルズの療法食がペットの喜ぶ「ごちそう」になりました。味・香り・食感を追求した結果、かつてない「おいしさ」を実現！！ドライ製品が順次新しくなります。粒の色合い、大きさ、パッケージなどが変わりました。

*フードは1週間～10日程度かけて徐々に切り替えましょう。



★わんちゃん、ねこちゃんのお口は健康ですか？

人と同様に、犬や猫の口の中にはたくさんの細菌がいます。犬や猫は人とは異なり虫歯にはなりにくいですが、歯垢・歯石の付着により、口臭がひどくなったり、歯周病を患ったり、さらには全身の健康に影響を及ぼすこともあります。歯周病を予防することが、元気に長生きをする秘訣とも言えます。



- ・健康な歯はピンク色の歯肉にしっかりと支えられています。
- ・歯垢を放っておくと、固まって歯石となります。
- ・歯石は歯肉に炎症を起こします。
- ・炎症が悪化すると、歯肉は腫れて出血しやすくなり、歯が抜けやすくなります。



毎日のデンタルケアにより、口腔内を清潔に保ち、歯垢・歯石の付着や、口臭、歯周病を予防することが大切です。そこで、歯周病を予防するには・・・

以下のような方法があります。その子にあったデンタルケアを見つけてあげましょう。

①ブラッシング製品(歯ブラシ、歯磨き粉など)

最も効果的に、食べかすや歯垢を除去します。歯ブラシは、その子の口の大きさにあったもの、歯磨き粉は犬猫専用のもを選びましょう。

②デンタルガム製品(ガム、ビスケットなど)

噛むことで歯垢の付着を抑え、歯と歯茎の健康を維持します。

③液体デンタルケア製品

毎日の飲み水に少量加えるだけで、手軽にケアできます。

④歯周病管理用フード

食物繊維の特別な構造を持つフードを噛むことで、歯垢をぬぐい取ることができます。



* お口の健康でお悩みの方、デンタルケアを始めたい方、何でもご相談ください。

ネコちゃんの通院ストレスを軽減するためにできること ～初めてのキャリーケース・トレーニング～

ネコちゃんがより快適な生活を送り、長生きするためには、獣医師による定期的なケアが必要です。動物病院が苦手なネコちゃんには、まず移動手段であるキャリーケースを「安全な場所」と認識させることが、通院ストレスを減らすための、もっとも簡単で重要な方法です。

～トレーニングのポイント～

- ・飼い主はいつもリラックスしていること。
- ・絶対に急がないこと。子猫や嫌な経験が少ない猫ほどトレーニングは早く進みます。
- ・慣れてきたら、胴輪をつけてキャリーケースに入れるようになると理想的です。

～キャリーケースの準備～

キャリーケースは猫が落ち着ける静かな場所に置き、猫の好きな素材や匂いのする敷物を中に入れます。

キャリーケースの中から無理なく猫を出しやすいタイプを選びましょう。

～トレーニングの方法～

- ①キャリーケースに入る・・・大好きなおやつを少しずつ中に入れ、何度も入る練習をしましょう。
- ②キャリーケースから出る・・・キャリーケースの扉を開けて、猫が自分から出てきたら、すぐに大好きなおやつをあげましょう。
- ③キャリーケースで移動する・・・家の中で移動の練習、車で外出してみましょう。ドライブの時はキャリーケースを布で覆うなどして周りが見えないようにすると慣れやすいです。



東日本大震災で被災した動物たちの今！そして・・・

東日本大震災、東京電力福島第一原発事故から2年が経ちました。いまだに警戒区域から約7万人、警戒区域周辺から約9万人が避難中です。多くの人はペットを失い、動物を引き取ることは困難な生活をされています。

その中、福島県動物愛護ボランティア会により2ヶ所のシェルター(救護センター)が運営されました。2012年10月までに犬439頭、猫456頭が保護されました。警戒区域内で1年半以上も生き抜いてきた猫もいるようで、警戒心が強くなっている子も多いようです。シェルター内で少しずつ人に慣らして、里親を探そうです。飼主のもとへ帰ったり、里親へ譲渡されたりと、現在は犬16頭、猫143頭が新しい飼い主を待っています。

この度、(公財)動物臨床医学研究所の附属施設として、野生動物のリハビリなどに使用している野生生物センターを改装した動物愛護施設「人と動物の未来センター・アミティエ」が倉吉に新設されました。9月初めには福島で保護されている犬・猫などが搬入されます。そこで9月21日(土)に現地で開催式を行うことになりました。どなたでも参加できますので、是非動物と一緒にご参加ください。

スタッフ紹介

今回紹介するのは、獣医師の黒川温菜先生と看護師の徳田彩香さんです。



はじめまして(*^^*)

4月から獣医師として勤務しています黒川温菜(くろかわはるな)です。米子市出身です。日々、かわいい動物達に癒されつつ、働かせていただいています。

動物達と飼い主さんの気持ちを一番に考えた診療を提供できるよう、一生懸命頑張ります！よろしくお願い致します。



こんにちは、徳田です。ダックス2匹(ティア:12才、ぶあ:10才)と、猫1匹(芽愛:4才)と暮らしています(写真の子は12才の子です)。いろいろな表情や姿を見せてくれるので、いつも癒されています。この子たちのおかげで、動物看護師という、素敵な職と出会うことができました！

みなさんとペットのよりよい生活のお手伝いができるよう、頑張りますので、これからもよろしくお願い致します！

愛猫家の皆様へお知らせ

公益社団法人鳥取県獣医師会では、平成23年度から猫の避妊・去勢奨励事業を行っています。今年度は助成頭数を200頭としております。

事業を希望される方は、当院受付にも申込み用紙がありますので、必要事項を記入の上鳥取県獣医師会までご送付ください。

職員のお知らせ

7月いっぱいをおもちまして当院に勤務しておりました、塚田悠貴先生が退職されました。今後は新たな職場でご活躍されます。

休診日のお知らせ

9月29日(日)
11月3日(日)
11月15日(金)～17日(日)

ご迷惑おかけしますが、よろしくお願い致します。